

1 御前崎市内に計画されている産業廃棄物処理施設への知事の対応について

<知事答弁要旨>

一昨年8月に行われたこの施設の影響評価方法書の手続におきまして、「この施設の事業計画等について、地域住民や関係者に分かりやすく、丁寧な説明による内容の周知と地域住民との合意形成に努めること」を求めました。

また、これまで私には、施設の設置計画を白紙にすることを求める約7,500名の方々の署名やこの施設への不安や建設への反対の思いなどが記された約1,700通もの手書きの手紙などが届けられております。昨年4月以降、何度か柳澤御前崎市長とお目にかかり、状況について確認したほか、建設予定地やその周辺に自ら足を運び、現状の把握に努めて参りました。こうした中、昨年12月、住民投票が実施されました。直後に市長さんから「9割が設置に反対との住民の意思が示されたので、住民の代表である市長として、住民の意思を尊重し、事業者に事業の断念を働き掛ける」という御報告をいただきました。さらに、本年1月には、市長が事業者の代表者と面談され、市長から御報告をいただきました。要点は2つで1つは、「事業は市民の理解と協力があって初めて成り立つものであることから、この施設の設置計画を断念するよう強く申し入れた」第2は、「事業者からは一旦立ち止まりたいとの回答があったが、市民の理解と協力なくして、人口減少対策やまちづくりを進めることはできないので、立ち止まるのではなく、撤退して欲しいと事業者に要請した」ということであります。このように、御前崎市長は、「この施設の設置計画について合意形成ができていない」との住民の意思を尊重されて行動されており、私もこの対応に全面的に賛同いたします。この市長さん並びに市民の人々に対しまして精神的な支援をしており、事業者に、市長からの御要請を、つまり市民からの要請をしっかりと受け止めて御決断していただけるよう、引き続き支援をしております。

2 観光客の誘客における地域との連携や支援について

<難波副知事答弁要旨>

近年、観光客の旅の楽しみ方が変化してきております。このような状況に対応し、静岡の観光の誘客の取組の改善が必要であります。今後は、旅のプラン・メニューの企画力、提案力に加えまして、そのプラン・メニューを実際に提供していく力、提供力を、更に高めていくことが必要です。県といたしましては、地域における連携を進め、国内外から多くの来訪を促進し、地域経済の活性化による持続可能な観光地域づくりを進めてまいります。

3 浜岡原子力発電所周辺の津波対策について

<交通基盤部長答弁要旨>

御前崎市では、浜岡原子力発電所周辺を含む8.8kmにつきまして、レベル2津波に対応した静岡モデル防潮堤の構造や周辺施設への影響などの調査を進め、この結果に基づき整備の方向性を検討することとしており、県は、この検討にあたり技術的な支援を行っております。新野川及び成川の津波対策につきましては、現在策定を進めている新たな防潮堤計画の中で、河口部の津波対策の方向性も含め、市とともに検討してまいります。県といたしましては、静岡モデル推進検討会を通して、積極的に支援し、安全で安心な県土づくりに努めてまいります。

4 企業局地域振興整備事業の取り組み状況について

<企業局長答弁要旨>

沿岸部の取組につきましては、港湾の活用による物流拠点としてのニーズが高いことから、「セミ・レディーメード」の採用も含め、市町と一体となって、物流企業の誘致を推進してまいります。企業局といたしましては、今後とも、常に最先端の技術・手法を取り入れ、最大の事業効果をもたらす新たな事業用地の供給を通じまして、地域の振興やブランド化の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

5 高校と地域の連携について

<教育長答弁要旨>

社会に巣立つ生徒が学ぶ高校と地域との連携は大変重要であると考えております。県立高校におきましては、各学校の実情に応じて様々な取組が進められており、池新田高校では、御前崎市と協力し、地域課題の解決等について意見を交わす「シアワセミライカイギ」を実施し、高校生が地域貢献の一端を担うことを自覚する学びの場となっております。椋原高校では、静岡大学や牧之原市、地元企業等とコンソーシアムを構成し、課題解決型学習の実践とフィールドワーク等を通して地域の企業研究に取り組み、地域についての確かな理解とグローバルな視点を併せ持つ人材の育成に努めています。熱海高校では、高校生が地元観光業の方々やバスツアーの企画・運営を担う、「高校生おもてなし伊豆ジオの魅力に浸るツアー」を実施しており、観光業の仕事幅広く学ぶキャリア教育の場となっております。今後は、地域との連携を更に強化し、学校運営に地域の意見を反映させるコミュニティ・スクールを全ての県立高校に導入し、次代を担う有為な人材を育てる仕組みづくりに取り組むこととしております。県教育委員会といたしましては、高校と地域との連携を一層推進することにより、「主体的・対話的で深い学び」を実践できる環境を整え、新しい時代の子供たちに求められる資質・能力の育成に取り組んでまいります。

お知らせ / (Q.R.コードについて)

携帯電話でも活動報告を逐次報告できるようになりました。Q.R.コードを使って携帯電話で閲覧いただけます。ご利用ください。



御前崎市に吹く風のように
力強く、まっすぐに歩みます。

静岡県議会議員
藪田宏行
事務所



〒437-1621 御前崎市御前崎103-56
TEL・FAX 0548-63-3221 / CATVTEL・FAX 63-3221
[自宅] 御前崎市御前崎119-40
TEL・FAX 0548-63-3368 / CATVTEL・FAX 63-3368
◆E-mail info@yabuta.info
◆http://www.yabuta.info
県政に対するご意見ご要望をお寄せ下さい。

静岡県議会議員

やぶ た ひろ ゆき

藪田宏行



3月3日 藪田宏行 一般質問

詳しい活動レポートは藪田のホームページをご覧ください
http://www.yabuta.info

平年より春が少し早くやってきたように思います。昨年12月に中国の湖北省武漢市で新型コロナウイルスの症例が確認されて以降、世界100ヶ国以上に感染が広がり、世界保健機関（WHO）もパンデミック（世界的大流行）と表明し、早期終息が見通せなくなっている状況が続いています。県内でも感染者が数人出ており、県庁内でも本部会議を開催する等対応に努めています。国内でも、学校や経済、生活等始め各界に



静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 (提供:静岡県)

大きな影響が出ております。県議会でも追加で、各常任委員会にて新型コロナウイルス関係だけの集中審査も行われました。

県議会2月定例会は、2月20日開会し、3月18日閉会となりました。今議会では、知事提出議案 77 件で、内令和2年度関係は 53 件（予算関係 18 件、条例関係 30 件、その他 5 件）でした。令和元年度関係は 24 件（予算関係 16 件、条例 3 件、その他 5 件）、この他は報告 8 件、委員会提出議案 1 件、意見書 5 件、決議 3 件、請願 1 件でした。令和元年度関係と 2 年度の補正予算は一刻も早い台風被災対応や新型コロナウイルスに関する対応の予算が含まれています。

また今議会中の3月3日午前中には、私も一般質問に立ちました。御前崎市内に計画されている産業廃棄物処理施設への知事の対応について等5項目について質問しました、知事他副知事、部長、企業局長、教育長よりご答弁をいただきました。この質問のやり取りについては、県庁ホームページから、2月県議会本会議中継の動画で見ることができますのでご覧ください。

現在新型コロナウイルスの関係で大きな行事やイベント等が中止または延期になっていますが、一刻も早い終息を願っています。国も県もまた市もたくさんの懸案事項が山積していますが、皆様のご指導ご意見も賜りながら頑張っておりますので、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



常任委員会にて

令和2年4月

主な活動から

- 1月
 - 5 御前崎市消防団出初式
 - 8 トラック協会賀詞交歓会
 - 10 御前崎市商工会新年祝賀会
 - 11 榛南経済人賀詞交歓会
 - 12 成人式
 - 16-17 常任委員会県外視察
 - 21 会派役員会、議員総会
 - 24 新年度予算局ヒアリング
 - 25 新野左馬助公顕彰会総会
 - 26 御前崎市駅伝大会
 - 29 富士山静岡空港と地域開発をすすめる会
 - 31 静岡県温室農協静岡支所新年決起総会
- 2月
 - 4 小笠地区食品衛生協会連合会新年祝賀会
 - 7 2月県議会議案説明会
 - 〃 北方領土を考える議員連盟講演会
 - 12 看護を考える議員連盟県内視察
 - 14 中東遠政治経済懇話会講演会
 - 15 御前崎市社会福祉大会
 - 19 一般質問レクチャー
 - 20 県議会2月定例会開会
 - 21 県議会先議案件採決
 - 23 第62回黒潮旗剣道大会
 - 〃 御前崎・白羽公民館まつり
 - 27~28 代表、一般質問
- 3月
 - 2~5 一般質問
 - 4 議会運営等改善検討委員会
 - 9~11 常任委員会
 - 17 小笠地区新構想高校に係る説明会
 - 18 県議会2月定例会閉会